

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 329

事業名	老人大学うずしお学園補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	長寿福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3005		項	社会福祉費・1項	
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	老人福祉費・3目	
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	延ばせ健康寿命_【健康】			
	施策目標	高齢者の生きがい活動や就業の場、癒し・消費の場を広げる			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳) 老人大学うずしお学園(南あわじ市内在住で60歳以上の者)				構成人数(人) 234
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 高齢者の生涯学習と介護予防に重点をおく。				
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 一般教養講座年11回開催。 クラブ活動4クラブ・養成コース8コースにおいて高齢者の生涯学習。 淡路・県関係(学ぶ高齢者のつどい淡路ブロック大会・学ぶ高齢者のつどい中央大会・学ぶ高齢者親善グラウンドゴルフ淡路支部大会)に参加。				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) (団体) ・南あわじ市内在住で60歳以上の者により結成された団体。 (活動目的) ・豊かな老後生活と個人の学習意欲を高めるとともに相互親睦を図り、さらには地域での指導者として生きがいのある生活基盤を構築できる手助けとなることを目的とする。 (活動内容) ・生涯学習・健康管理・視察研修 (事務局) ・長寿福祉課高齢者福祉係(南あわじ市広田広田1064番地 緑庁舎内)				
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (長寿福祉課)	<input type="checkbox"/> 旧町単位 ()
					<input type="checkbox"/> 旧村単位 ()	
	補助金算出根拠	一般教養講座講師料及び養成コース運営費の一部としている。				
	補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
	合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 合併後、旧広域事務組合より継続。				

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	600	600	600	600
	老人大学うずしお学園補助金	600	600	600	600
	事務局事務費(市が事務局の場合)	0	0	0	0
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	600	600	600	600
	人件費(正規職員)[B] (千円)	1,535	1,495	1,505	1,505
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	50	50	50	50
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])	2,135	2,095	2,105	2,105
「構成人数」一人当り経費 (千円)	9.1	9.0	9.0	9.0	
受益者人数(243)一人当り経費(千円)	8.8	8.6	8.7	8.7	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 今後高齢化が進む中、受講生が増えた場合、ある程度の制限を加えないと、成り立ちにくいと思う。	自己評価 (5点評価)
		3
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 今後急速に高齢化が進む中、必要性は大きいと思う。 受講生数増加の場合に費用は増加する。	自己評価 (5点評価)
		4
総合評価	<p>自己評価をふまえた現状分析</p> <p>年11回の一般教養講座・クラブ及び養成コースにおける生涯学習は、高齢者にとって、豊かで生きがいのある老後生活と介護予防に役立っているように思う。</p> <p>又、養成コースの花づくりにおいては、少ない予算の中、中央庁舎前河川公園の整備に力を入れている。</p> <p>以上のことから必要な団体であり、これからも補助金を継続していく必要がある。</p>	<p>評価グラフ</p> <p>費用対効果: 3 必要性: 4</p>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	平成20年度は現状維持とし、老人大学の平成21年度統合化に向けて調整を図る。	老人大学の統合化を図る。
(現状維持以外の改善方法)		一緒に開催できる部分については、3団体合同とする。
改善によって期待される効果		3団体合同開催により経費削減。
(現状維持の場合も記入)	仮に 補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
廃止の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の活動内容を変更しないと成り立たなくなる。 ・大幅に会費を高くする必要が生じることにより受講生が減となるため、高齢者の交流の場が奪われる。 	